



たけだまき 千葉県議会サポート

発行 / 自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉県中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

児童相談所の老朽化を指摘

9月県議会一般質問に登壇



壇上から児童相談所の老朽化対策を力説する武田議員

来年度から地下埋設物の移設工事に着手できるように、用地交渉を進めていることなど、県の新たな見通しが明らかになりました。武田県議の主な質疑を特集します。

増え続ける児童虐待に対応 自民党PTの副座長として

今年4月の県議選で、流山市選挙区から市民の負託を受けて3選を果たした武田正光(たけだ まさみつ)県議は、9月定例議会で改選後初の一般質問に登壇しました。武田県議は、6月から自民党の「児童虐待防止対策プロジェクトチーム(PT)」の副座長に就任したことから、児童相談所の老朽化問題などを厳しく指摘し、早急な改善を迫りました。懸案の(仮称)三郷流山橋でも、

武田議員 県が所管する6カ所の児童相談所における児童虐待相談対応件数は、平成22年度は2522件だったものが、平成26年度には5173件と、5年間で2倍以上に増えていきます。また、平成25年度の相談件数は、大阪府、東京都に続いて全国3位というよろしくない状況にあります。虐待相談の受付件数も右肩上がりに増加し続けており、深刻な社会問題となつていきます。自民党では、児童虐待防

止対策の充実をめざし、「児童虐待防止対策プロジェクトチーム」を6月に発足させたところであり、私は副座長の一人として、県内の児童虐待防止対策の現状と課題を調査するため、県内の児童相談所や乳児院、児童養護施設等の現場調査を行いました。その途中経過報告として、プロジェクトチーム幹事会を代表して質問させていただきます。現場調査をして、まず驚いたのは、施設の老朽化です。特に中央児童相談所と柏児童相談所は、昭和40年代後半に建てられた施設で、老朽化が著しく、現在求められている役割が十分に果たせていないと感じました。そこで伺います。老朽化が進み、手狭になっている児童相談所について、どのような対策を行っているのか。

健康福祉部長 中央、柏及び銚子の各児童相談所は、建設から40年を超えて老朽化が進んでいます。また、近年の虐待対応件数の増加やこれに伴う職員の増員によって施設が手狭になっているところがあります。そのため、県では計画的な施設の維持改修に努めて

おり、今年度は、銚子児童相談所の耐震化工事を行うとともに、柏児童相談所の防水工事を行う予定です。また、柏児童相談所については、不足している面接室や狭隘化している執務室の改善を図るための応急的な改修を行うとともに、一時保護所の子どもの生活環境の向上も検討してまいります。

施設建替えも検討

武田議員 児童相談所の老朽化が大変進んでいるため、施設の改修ではなく、建て替えが必要と思うかどうか。

健康福祉部長 県では、近年の虐待対応件数の増加や施設の老朽化に対し、応急的に対応していますが、計画的な建て替え、移転も検討させていただきます。

電子メールで相談

武田議員 先日、児童虐待防止対策プロジェクトチームで、先進的な取り組みをしている愛知県の「NPO法人CAPNA」を視察しました。同NPOは、電話相談、危機介入、調査研究、社会啓発、援助・予防の5本の柱で活動しています。

また、NPO法人・日本子どもの虐待防止民間ネットワークと連携し、育児や虐待への不安などについて、電子メールで相談を受け付ける取り組みを行っています。本県も、電子メールなどによる相談を導入して、気軽に相談できる体制づくりを進めてはどうか。

健康福祉部長 コミュニケーションの多様化が進む現代社会で、情報へのアクセスのしやすさや、相談しやすい体制づくりは重要な課題だと捉えています。

児童相談所への相談は、子どもや保護者の様子や生育歴、生活歴など家庭の状況等を正確に把握する必要があります。そのため、電話や来所による相談が基本だと考えています。

一方、地域の身近な子育て支援機関である児童家庭支援センターでは、電子メールなどで相談を受けているところもあります。今後、相談者の利便性について、児童家庭支援センターの周知を図り、気軽に相談できる体制づくりを進めてまいります。

(仮称)三郷流山橋 28年度から工事着手へ!

運動公園周辺地区

主要道路29年度供用開始



再質問で三郷流山橋の進展を要望する武田県議

武田議員 流山市は、つくばエクスプレスの開業により、都心まで20分という交通便利性の高い都市として成長を続けています。この10年間で人口は約1万9千人、約13%の伸びとなっており、県内有数の人口増加地域となっています。

市内に江戸川を渡る新たな橋が必要であり、現在事業着手している(仮称)三郷流山橋の1日も早い完成が不可欠です。私も、議会において再三質問してまいりました。今年2月議会では、用地取得が約2割の進捗、また本年度は橋梁詳細設計を実施する予定との答弁をいただいております。(仮称)三郷流山橋の進捗状況と今後の見通しはどうか。

県土整備部長 (仮称)三郷流山橋は、市街化の著しい東葛飾地域と埼玉県東部地域を結び、流山橋に集中している交通を分散させるため、千葉県と埼玉県が共同で事業を進めているものです。昨年3月に締結した基本協定に基づき、江戸川を渡る

武田議員 流山市の発展は、つくばエクスプレスの開業に合わせ、千葉県、流山市、都市再生機構(UR)が進めている土地区画整理事業の成果であると考えられます。この土地区画整理事業の中でも、千葉県が施工している「運動公園周辺地区」については、昨年6月議会に登壇した際、「県と地権者との強い信頼関係の構築」との要望をさせていただきました。

これを受けて、県は速やかに住民説明会を開催し、今後の整備方針などを地権者の方々に詳細に説明してくださいました。その後、地権者の理解も深まり、事業のスムーズな展開につながったとの報告を聞き、私の発言が事業展開に資することができたものと、うれしく思っております。

おたかの森小中学校の通路となる加市野谷線の整備を行うとともに、地区南側の調整池やその周辺の宅地整備を進めています。今後は、地区の幹線道路となる都市計画道路中駒木線、新川南流山線、野々下思井線などについて、平成

要望 三郷流山橋について、埼玉県と連携をより強くしてください。現在、松戸野田線の県道から、茂侶神社交差点まで、用地買収を頑張っていたいただいています。平成28年度から埋設物の移設工事に入るということなので、前に前

都市整備局長 本地区では現在、来年4月に開館予定の「流山市民総合体育館」へのアクセス道路となる都市計画道路流山柏線及び「お

保健医療担当部長 県では、より安心で質の高い小児救急医療の実現に向け、提言の内容は重要であると考えています。

森田知事 「安全・安心」は、国内外から本県を訪れる人々に対する大きなおもてなしの一つであり、オリンピック・パラリンピックの開催は、安全・安心な本県の姿を広くアピールできる絶好の機会だと思っています。

土地区画整理事業

小児救急医療で提言

五輪の安全対策

武田正光県議 Profile

略歴

- 昭和44年8月9日生まれ
- 昭和57年 流山市八木南小学校卒
- 昭和60年 流山市八木中学校卒
- 昭和63年 専修大学松戸高等学校卒
- 平成4年 中央大学商学部卒
- 公認会計士
- 平成19年 県議会議員初当選
- 平成23年 県議会議員再選
- 県土整備常任委員会委員長
- 環境生活警察常任委員会委員長
- 平成27年 県議会議員3選

現職

- 県議会 総務防災常任委員会副委員長
- ちば自民党青年部長

●流山市や県政のご相談、ご要望をお聞かせください

たけだ正光 県議事務所

〒270-0163 流山市南流山4-1-8-1105
TEL.04-7159-0518 FAX.020-4666-1033

ホームページ たけだ正光 <http://www.takeda-hashiru.com>

●たけだ正光ブログもご覧下さい。毎日更新中!! ブログ <http://takedama.exblog.jp/>